

小学校国語科 授業改善事例Ⅲ

第4学年「理由や例を挙げて、考えを書こう」（全10時間）

内容のまとめり 第3学年及び第4学年
〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項
〔思考力、判断力、表現力等〕「B書くこと」

重点的に指導及び評価する指導事項 B(1)ウ
自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

1 本単元における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のアプローチ

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の1つのアプローチとして、「児童の学びの姿」と児童の学びの姿を実現する「教師の働きかけ」の双方の視点から授業改善を図ることが大切です。本単元においては、次のような視点で授業改善を図ります。

	児童の学びの姿	本単元における教師の働きかけ
「主体的な学び」	学ぶことに興味や関心をもつ。	・児童の身近な話題や他教科等との関連を踏まえて言語活動を設定する。
「対話的な学び」	児童同士の協働や、教職員や地域の人との対話を通じ、自分の考えを広げ深める。	・児童が自他の考えの共通点や相違点に気付くことができるように、ICTを活用して、互いの考えを比較する場面を設定する。
「深い学び」	情報を精査して考えを形成する。	・収集した情報を比較や分類したり、関係付けたりして情報を整理し、それを基に自分の考えを形成する場面を設定する。

2 本単元の概要

(1) 単元の目標

- ① 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2)ア
- ② 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア
- ③ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ
- ④ 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

(2) 単元で取り上げる言語活動

調べて考えたことについて、書き表し方を工夫して文章を書く。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア)

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) ②「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 (B(1)ウ)	①積極的に、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

(4) 本単元の指導と評価の計画（全10時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○自然災害への備えについて伝えるという学習の見通しをもつ。 ○既習の説明文を基に、理由や事例を挙げて文章を書くよさについて確認する。 ○単元の学習計画を立てる。	・社会科で自然災害について学習したこととの関連を図ることで、児童が単元の学習活動への興味や関心をもつことができるようにする。 ・既習事項を確認し、単元で身に付ける資質・能力を児童と共有する。 ・言語活動のモデルとして、教師が作成した文章を示すことで、単元の学習活動の見通しをもち、学級全体で学習計画を立てることができるようにする。	単元において、児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。ここでは、「記録に残す評価」のみを位置付けていますが、学習内容を確実に習得できるようにするため「指導に生かす評価」を適宜行います。
2・3・4・5・6	○自然災害への備えについて伝えたいテーマを決めて調べ、集めた情報を整理する。 ○整理した情報を基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係について確認する。 ○文章の組み立てを考えながら、【組み立てメモ】を作成する。	・インターネットや本を活用したり、インタビューを行ったりするなど、自分に合った方法で調べることができるようにする。 ・【整理シート】を用いて、集めた情報を比較や分類したり、関係付けたりして整理することで、伝えたいことを明確にできるようにする。 ・【整理シート】を基に、「伝えたいテーマに必要な情報が整理されているか」などを適宜、児童同士で確認することができるよう促す。 ・整理した情報を【整理シート】で視覚的に捉え、自分の考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について考えることができるようにする。 ・【整理シート】を基に、【組み立てメモ】を作成することで、文章の構成を考えることができるようにする。	【思考・判断・表現①】 1人1台端末の記録又はノート・観察 ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしているかの確認 【知識・技能①】 1人1台端末の記録・ワークシート ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解しているかの確認
7・8・9・10	○【組み立てメモ】を基に、下書きをする。 ○下書きを見直す。 ○下書きを修正し、清書する。 ○清書を友達と読み合う。 ○単元の学習を振り返る。	・「なぜなら～」や「例えば～」など、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になるような表現を用いるなどの工夫を促す。 ・児童が1人1台端末又はノート等を選択し、下書きをすることができるようにする。 ・見直す際は、書き表し方について友達と助言し合うよう促す。 ・完成後は、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確な点など、よい部分を伝え合うことで、自分の文章の表現の工夫に気付くことができるようにする。 ・自分の考えたことを伝える文章を書くために、どのように書き表し方を工夫したのかを振り返ることができるようにする。	【思考・判断・表現②】 1人1台端末の記録・ノート等・観察 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しているかの確認 【主体的に学習に取り組む態度①】 1人1台端末の記録・ワークシート・観察 ・積極的に、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって文章を書くようとしているかの確認

3 本單元における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教師の働きかけの具体例

(1) 児童の「学ぶことに興味や関心をもつ」姿を実現する教師の働きかけ

児童の学びの姿

学ぶことに興味や関心をもつ。

「主体的な学び」
の実現に向けて

教師の働きかけ

児童の身近な話題や他教科等との関連を踏まえて言語活動を設定する。

児童が学ぶことに興味や関心をもつことができるようにするために、児童の身近な話題や他教科等との関連を踏まえて言語活動を設定することが大切です。本單元では、社会科で自然災害について学習したことを振り返り、自然災害への備えについて、書き表し方を工夫して文章を書く言語活動を設定します。このように言語活動を設定することで、児童が学ぶことに興味や関心をもつことができるようになります。

《自然災害への備えについて伝えるという学習の見通しをもつ場面（第1時）》



社会科でこのような自然災害について学習しましたね（資料1）。その学習の振り返りでは「いろいろな自然災害への備えについて調べて家族に伝えたい」という人が多くいました。この学習のあと、自然災害への備えについて、実際に家族に伝えた人はいますか。

自然さい害

水害 地しん つ波 雪害 火山

ふりかえり

- ・自然さい害について知ることができた。
- ・いろいろな自然さい害へのそなえについて調べて家族に伝えたい。

資料1 社会科で学習した際の板書の一部



そうなのですね。どのような話をしましたか。



ぼくは、水害への備えについて家族と話をしました。



水害のときは、買い物に行けなくなるから、食べ物や水を買っておこうと話しました。



なるほど。ほかに、話したことはありますか。



うーん…。ほかに、どのようなことを話したかな。忘れてしまいました。



私は、家族とニュースを見ながら水害への備えについて話をしたことがあります。でも、備えるものの中には、それらがなぜ必要なのか、よく分からないものもありました。



ぼくは、家族に地震への備えについて伝えようと思ったけれど、自分の家では、何をどのくらい備えるといいか分からなかったの、まだ伝えることができていません。だから、ぼくの家で必要な備えについて調べて伝えたいです。



そうですね。それぞれの家庭で必要な備えは違いそうですね。では、調べたことを、どのような方法で家族に伝えたらよいでしょうか。



話すだけだとすぐに忘れてしまうので、書いて伝えた方がいいと思います。



書いて伝えるなら、自然災害への備えにはどのようなものが必要なのかを、理由や例も挙げて書いた方が、伝わると思います。



なるほど。理由や例を挙げて、文章に書いて伝えるとよさそうですね。では、この單元では、自然災害への備えについて調べ、理由や例を挙げ、文章に書いて家族に伝える言語活動を行いましょう。



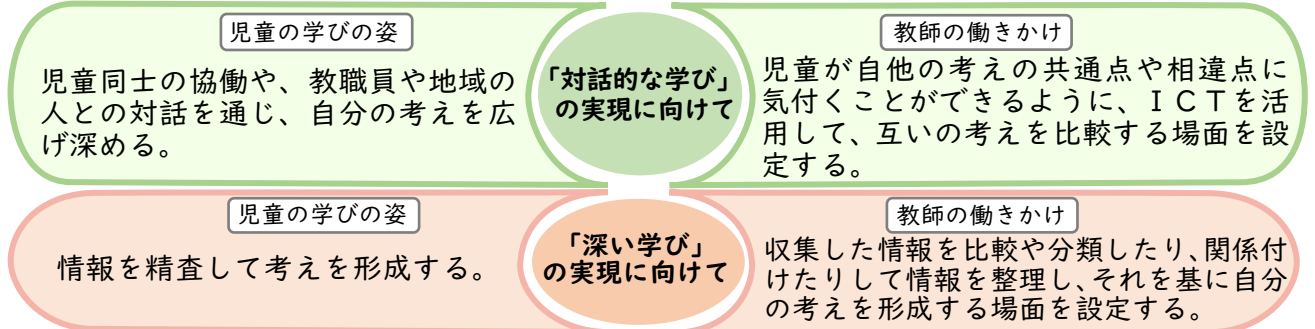
どの自然災害への備えについて調べようかな。私たちに身近な自然災害は「水害」かな。「地震」もたまにあるよね。



自然災害に備える理由や例には、どのようなものがあるのかな。さっそくインターネットや本で調べて、書きたいです。

児童が学ぶことに興味や関心をもつことができるようにするために、児童の身近な話題や他教科等との関連を踏まえて言語活動を設定することが大切です。

- (2) 児童の「児童同士の協働や、教職員や地域の人との対話を通じ、自分の考えを広げ深める」姿と「情報を精査して考えを形成する」姿を実現する教師の働きかけ



児童が自分の考えを広げ深めながら、情報を精査して考えを形成できるようにするために、情報を整理したり、互いの考えを比較したりし、それを基に自分の考えを形成する場面を設定することが大切です。本単元では、児童同士の対話を通じ、情報を整理したり、ICTを活用して、互いの考えを比較したりすることで、自分の考えを広げ深めながら、調べて考えたことについて書き表し方を工夫して文章を書くことができるようになります。

《自然災害への備えについて、集めた情報を整理する場面（第3時）》



前回の学習では、自然災害への備えについて伝えたいテーマを決めて調べましたね。今回の学習では、集めた情報を整理しましょう。その際、伝えたいテーマについて必要な情報が集められているか、自分の【整理シート】を確かめましょう。

伝えたいテーマについて必要な情報が集められているかを、どのようにして確かめたらいいですか。



必要なときは、1人1台端末で友達の【整理シート】を見て、集めた情報を比べたり、集めた理由を聞いたりしてもいいですよ。



（1人1台端末で同じテーマを選んで
いるDさんの【整理シート】（資料2）
を見ながら）
Dさんの集めた情報には、身を守る行
動として、ハザードマップの情報があ
るな。

（Dさんのところへ行き）
Dさんは、どうして「身を守る行動」とし
て「ハザードマップをかくにんしておく」
という情報を集めたのですか。



伝えたいテーマ	自分の考え
水害へのそなえについて	
じゅんぴするもの ひじょう用持ち出し品は、ひなんするとき、せおって、ひなん所まで歩ける量にする。 〇〇県Webページ	ひなんするとき ひなんするときは、長ぐつではなく、はきなれたスニーカーをはく。 〇〇県Webページ
身を守る行動 ハザードマップをかくにんしておく。 〇〇県Webページ	身を守る行動 ハザードマップをかくにんしておく。 〇〇県Webページ

資料2 児童Dの【整理シート】

児童D



場所によって浸水する深さが違うので、避難経路が安全かどうか確かめておくことが大切だと思ったからです。

なるほど…。ぼくが集めた「身の安全を守る」ための「家具がたおれないように固定しておく」という情報（資料3）は、水害への備えに必要な情報なのかな。もう一度、ぼくが集めた情報を見直してみよう。



伝えたいテーマ	自分の考え
水害へのそなえについて	
じゅんぴするもの 3日から1週間分の水や食料をそなえておく。量や置く場所は家族と相談しておく。 〇〇消ぼうしWebページ	ひなん行動 ねている場所のそばに、スリッパやはきものを置いておく。 〇〇県Webページ
身の安全を守る 家具がたおれないように固定しておく。 〇〇県Webページ	身の安全を守る 家具がたおれないように固定しておく。 〇〇県Webページ

資料3 児童Aの【整理シート】

児童A



自分が集めた情報と友達が集めた情報を比べてどうでしたか。

集めた情報を比べることで、伝えたいテーマについて必要な情報が集められているかを確かめることができました。



《整理した情報を基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係について確認する場面（第4～5時）》



前回の学習では、伝えたいテーマに必要な情報を集めて整理することができましたね。
今回の学習では、整理した情報を基に、**自分の考え**をまとめましょう。

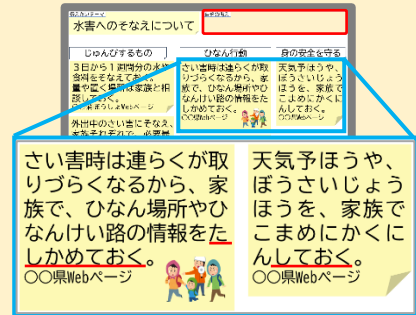
児童Aは、共通している言葉に着目して自分の考えをまとめている。

整理した情報には、「**しておく**」という言葉が文末に多い（資料4）。「**しておく**」という言葉は、前もって**備えておく**という意味だから【整理シート】の自分の考えには「**日ごろからのそなえが大切**」と書こう。



児童A

自分の考えが書けましたね。次は、整理した情報から、理由や例として挙げるものを選びます。自分の考えと合った理由や例を選んで丸で囲みましょう。



資料4 児童Aが整理した情報の一部

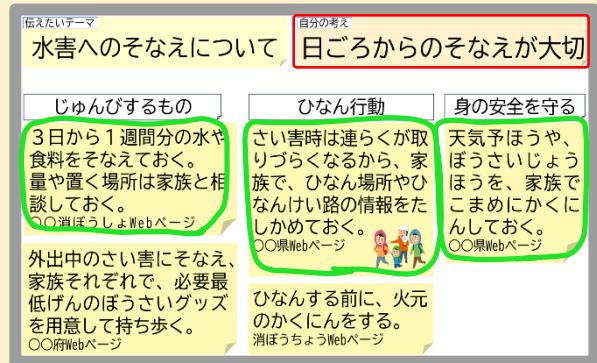
「日ごろからのそなえが大切」という自分の考えと合った理由や例は、この3つにしよう（資料5）。



丸で囲んだ理由や例が自分の考えと合っているか、友達と確かめ合ひましょう。



（Cさんのところへ行き）
ぼくは、水害への備えについて、「日ごろからのそなえが大切」という自分の考えと合わせて、この3つの理由や例を選んだよ。



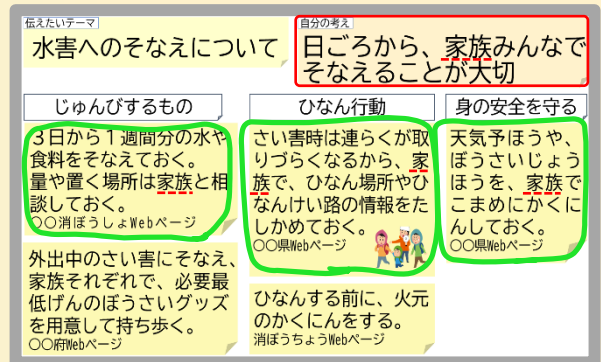
資料5 児童Aが自分の考えをまとめた【整理シート】

3つとも、日頃からの備えにつながっている理由や例になっていると思うよ。ぼくは、地震への備えについて、「家族で話し合っておくことが大切」という自分の考えと合わせて「家族で」という言葉が入っている理由や例を選んだよ。



児童C

なるほど。ぼくが選んだものにも「**家族**」という言葉が入っているな。自分の考えに「**家族みんなで**」という言葉を追加して、「**日ごろから家族みんなでそなえることが大切**」としてみよう。（資料6）。



資料6 変容後の児童Aの【整理シート】

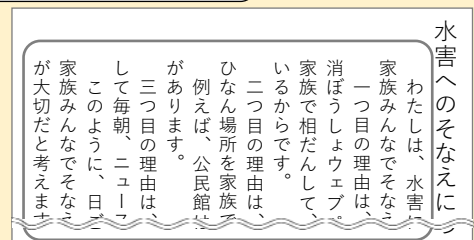
《単元の学習を振り返る場面（第10時）》



自分の考えが伝わるように理由や例を挙げて、文章を書くことができましたね。
では、単元の学習活動を振り返りましょう。

〔児童Aの振り返りの一部〕

自分の考えと理由や例のつながりを友達とたしかめたり、下書きを見直したりすることができました。水害へのそなえについて、理由や例を挙げて家族に伝える文章を書くことができました（資料7）。



資料7 児童Aが書いた文章

児童が自分の考えを広げ深めながら情報を精査して考えを形成するために、情報を整理したり、互いの考えを比較したりし、それを基に自分の考えを形成する場面を設定することが大切です。